



## 来館者のみなさまに「きれいな水から生まれる物産」についておたずねしました。

約6割の方が「日本酒」や「ビール」「ウイスキー」と答え、「米」や「染め物」「豆腐」などの回答が上位を占めました。それらの物産が、琵琶湖や淀川流域で生産されていることから、私たちが水の大きな恩恵を受けていることを再認識することができました。また、きれいな水は「味の決め手」「文化の基本」「いちばん大切な財産」などの声も多数寄せられました。



## おたより紹介

◎いつでもきれいな水が出るので、つい水のことを忘れてしまいますが、淀川を見れば、生命の水が、危ないと強く感じます。高度な機械で水を美しくするのはなく、私達1人1人の手で自然の水を美しく守っていかなければと思います。

(大阪府 O・H)

◎主人が釣りが趣味で琵琶湖をよくよく愛し、その為に大津に引越して(京都から)約1年半になりました。びわろ通信は「見難しそうな内容ですが、実は、とても分かり易くためになると思います。これからも頑張ってくださいネー。」

(滋賀県 M・K)

◎滋賀に住む以上、琵琶湖に関心を持たずにはいられません。わが家は第二次石油ショック以来、粉せっけん派ですが、いかにリンを抑えたとはいえ、界面活性剤などの化学物質を含む合成洗剤にはどうしても賛成を致しかねるからです。琵琶湖の水に依存する京都、大阪の方々は言うに及ばず、豊かな自然を次世代へと引き継ぐという大きな責務を強く自覚しなくてはならないと思います。

(滋賀県 N・R)

たくさんのお便りをありがとうございました。

## Column



水をテーマに環境を考える  
市民グループ「アクア・ネット」

昨年の11月に開催されたアクアネット主催の「ヨシまつり」は、ヨシの舟やかまくらづくりを通して、ヨシの素晴らしさや大切さを学ぶことができた大好評でした。人間にとっていちばん身近で、あらゆる生命に欠かすことのできない「水」。この「水」を中心に、「環境」を考え、語り合い、行動するためにつくられた市民の組織が「アクア・ネット」です。

昨年の夏に発足し、11月には第1回のイベントとしてアクア琵琶をメイン会場に「びわ湖くまび川・ヨシまつり」を開催。また、大阪市の天神橋周辺をサブ会場とし、琵琶湖と淀川下流をつなぐ2会場での同時開催も行なわれました。このイベントからもわかるようにアクア・ネットのもうひとつのねらいは、琵琶湖・淀川水系の上流と下流の仲間か手をつないで、ともに水や環境を考えようとするものです。さらに、この組織を核に、数多くのNPOや各種団体と連携し、人と情報のネットワークが形成されるよう、さまざまな試みに取り組んでいます。「アクア・ネット」問い合わせ先  
077-5222-5920(永岡まこ)